

ももたろう基金～「平成30年7月豪雨災害支援基金」～

第8次(災害支援・復興)助成金申請書

【団体情報に関すること】

※本用紙に記載の個人情報は、本事業の実施にのみ使用します。

ふりがな	にほんあろませらびーがっかいちゅうごくしこくしづへいせい30ねん7がつごうさいがいしえんじっこういんかい		
団体名称	日本アロマセラピー学会中国四国支部平成30年7月豪雨災害支援実行委員会		
代表者職名	実行委員長	ふりがな	しのみや みさえ
		代表者氏名	四宮 美佐恵 ㊞
ふりがな	にいみしにしかた		
団体住所	岡山県新見市西方		
電話番号		F A X	
設立年もしくは活動年数	学会設立 1997 年 11 月 (平成 30 年 7 月豪雨災害支援実行委員会組織日 2018 年 10 月 7 日)		
スタッフ数	有給スタッフ__0__名・無報酬スタッフ__16__名・ボランティア等__21__名		
団体HP(あれば)	http://www.aroma-jsa.jp/		
FBページ(あれば)	http://u0u0.net/Mhy0		
CANPAN登録	<input type="radio"/> なし ・ <input type="radio"/> あり (星 つ) 【団体ID: _____】		

※申請に関する事務担当連絡先(団体と異なる場合・電話番号については携帯電話など出来る限り直接本人につながるもの)

担当者役職名(必須)	副実行委員長	ふりがな	かわい しずよ
		担当者氏名	川合 静代
郵送物送付先住所	岡山県新見市		
担当者電話番号 (極力携帯番号)		担当者 e-Mail	

申請事業の内容

事業種類・内容 該当する活動に○をつけてください。	①. 災害支援・復興活動(真備エリア) 2. 災害支援・復興活動(県内各地)
事業名 (もしくは事業概要)	アロマセラピーと医療連携に基づく地域再生支援プロジェクト
活動(予定)期間	平成 31 年 4 月 1 日 ~ 平成 32 年 3 月 31 日
活動(予定)場所	倉敷市真備町など
受益者数	直接受益者 (800-1000 名) 間接受益者 (3000 名) ※いる場合
事業の必要性(背景)と目指すゴール(目指す状況)	
<ul style="list-style-type: none"> ・現状や支援対象者の状況(支援対象者との現在の関係性についても必要に応じて記入) ・事業を実施することで被災地や被災者がどのような状況になることを目指すのか <p>平成 30 年 7 月西日本豪雨災害(以下、本災害)発災後、日本アロマセラピー学会とセラピストチーム岡山、HuMA(災害人道医療支援会)、そーる訪問看護ステーション、あるくなど被災地支援の諸団体と、地域の再生をめざすグループなどとの医療社会連携を行いながら、平成 30 年 9 月 2 日より月一回のペースで、アロマセラピー、医療相談などを中心に支援活動を展開してまいりました。支援活動はアロマセラピーとハーブティーを提供するサロン活動が中心で、平成 31 年 2 月まで計 7 回、直接セラピーを受けられた方は 2018 年内の 5 回の合計でのべ 164 名、サロンに来られた方はのべ 532 名におよび、直接間接に地域の復興・再生に貢献して参りました。また倉敷ボランティアセンターでの活動では、ボランティア支援や、センター職員など、支援者の支援も着実に行って参りました。</p> <p>被災地の現状は仮設(みなし仮設)への入居が終わり、自力再建など復興が進む一方で、地域のコミュニティが崩壊し、孤立と災害関連死への対策が求められている状況です。私たちは失われたコミュニティ機能の早期の再生への支援として、現地で活動している団体・組織を支援することが重要と考え、NPO 法人そーる訪問看護ステーション、あるく(川辺地区住民組織)を支援してきました。</p> <p>今期も、これらを継続的に支援することで早急なコミュニティ機能の再生、再建を一日も早くなしとげていただきたいと思っています。</p>	
事業の実施内容	
<ul style="list-style-type: none"> ・どのようなことをいつ(回数等)やるのか <p>第 6 次申請で掲げた次の 3 項目をひきつづき重視します。1) なにより被災者、被災地のニーズを第一に、2) 地域の再生に繋がる支援内容を、3) 科学的で安心できる場を提供する、そしてこの内容を極力同じメンバーで、顔の見える活動として、継続的に、2019 年 7 月まで提供する予定です。</p> <p>具体的な支援としては、ひきつづき、真備町の被災者およびその支援者(ボランティア、ボランティアセンタースタッフや自治体職員、看護、医療、福祉専門職等)を対象に、安心とリラックスできる環境と空間、時間を提供するために、談笑をしながらハーブティー等を提供し、足浴やアロマトリートメントサービスを提供します。また並行して、子どもたちにもできるアロマクラフト作りの活動も予定しています(https://www.facebook.com/events/1125577320923202/)。</p> <p>第 6 次で計画してできなかった被災地からの情報発信ですが、今期は別予算で展開する予定です。被災者への、被災地で被災者支援を行っている支援者からの情報発信は少しずつ実施されるように</p>	

なりましたが、まだまだ不十分です。今回は予算措置の関係で別団体からの発信になりますが、しっかり実施して行く予定です。

事業の実施体制

- ・事業実施にあたり、自団体の取り組みメンバーや連携先の団体など

当団体は、一般社団法人日本アロマセラピー学会中国・四国地方会の災害支援実行委員会です。当学会はアロマトリートメントを医療として提供することを専門的に実施・研究することを目的に 1997 年 11 月設立し、2011 年に一般社団法人化しました。会員数は全国 1650 名、うち中国・四国地方会の会員は 79 名です。これまでの当学会における災害支援の実績は、2016 年の熊本地震での支援活動を行った実績があります（2016 年 5 月～2018 年 5 月）。また本災害においては、発災 3 日後から学会としての取り組みを始め、既に倉敷市真備町内及び総社市山手公民館（避難所）等で 7 回のセラピーを実施しました。

事業の実施体制としては実行委員会体制を確立しています。情報収集と現地での調整、支援の実施などを分担し、責任を持って対応できる体制を整えています。また上述した地元支援団体や倉敷市社会福祉協議会担当者職員と連絡をとりながら、適切に活動が実施できる環境にあります。

支援活動を行うメンバーは、参加を希望する学会員等に対し 2018 年 8 月 12 日に事前研修会を実施し、原則、この研修を受けた者が活動に参加する形態をとり、事業の継続性と支援における質の確保をはかっています。また、当団体と協力関係にある連携団体としては、HuMA（災害人道医療支援会・常任理事：夏川知輝氏）、アロマセラピストチーム岡山（代表：安東尚美氏）、新見公立大学健康科学部看護学科（精神看護学准教授：山下亜矢子氏）等とも綿密な連携体制を確立しています。特に HuMA からは医師が派遣されており、メンバーによる看護・福祉職による相談と併せて医療相談の実施も可能です。またアロマセラピストチーム岡山からはアロマセラピストが当団体に合流し、セラピー（ハンドトリートメント、フットトリートメント等）を実施しております。

事業実施後の展望

- ・助成期間後も活動を継続す場合はその内容や展望
- ・助成期間をもって事業終了の場合は、その後の支援対象者の状況

助成期間後も 2 年間（2020 年 8 月）をめどに、継続的に支援を行う予定です。支援活動の内容はこれまで同様、月一回程度の支援を継続します。最終的に本事業を完了する時には、全体の活動報告を兼ねた第二回公開シンポジウムを開催する予定です。本事業に使用した物品について、継続的に使用可能なものについては支援対象団体などに寄贈、寄附する予定です。

その他

- ・その他事業実施にあたり、特に必要なことや P R

予算案はももたろう基金からの収入だけを計上し、収支を記載しておりますが、当学会からの支援金があります。現在具体的な支援金額については、当学会執行部と交渉中ですが、当該年度については交通費の実費支給を見込んでおります。

資金管理について

本事業年度が終了したのちは、当学会内での内部監査を行った後、さらに公認会計士による外部監査を実施する予定です。このことにより、助成金を適切に執行することが担保されます。